

2018年度臨時総会議事録

日 時：2018年11月19日（月）13時30分～14時00分

会 場：気象庁（東京都千代田区）講堂

出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，氏家将志，

塩谷雅人，新保明彦，坪木和久，中村 尚，

早坂忠裕，堀之内 武，以上9名

（理事数現在20名）

出席監事：鈴木 靖，高谷康太郎，以上2名

出席者：個人会員の会場出席者15名，総会参加票による出席者2,279名，合計2,294名。個人会員現在総数3,282名（2018年11月10日現在）

決議の要件：社員総会の決議は，定款の改正議案については，定款第17条第1項により総社員の議決権の3分の1以上を有する社員が出席し，2項により総社員の半数以上であって，総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

1. 開会

氏家理事より出席状況と決議の要件を満たしていることが報告され，臨時総会の開会が宣言された。

2. 議事選出

総会議長に韭澤 浩会員（気象庁）を選出した。

3. 理事長挨拶

お忙しい中，2018年度の臨時総会にお集まりいただき，ありがとうございます。この総会では定款の改正という重要な案件を審議します。よろしくお願ひいたします。

日本気象学会では，会員数の減少と諸経費の高騰により，ここ数年間にわたり単年度収支が赤字の状態が続いています。会員数の減少に歯止めをかけるための施策，出版・大会開催などの事業収入の増加のための施策とともに，経常経費節減の施策を検討してまいりました。特に，経常経費の節減策のひとつとして，理事会や総会の議決を電子メール等の電磁的方法で行い，会議の開催経費を節減することにしました。ただし，そのためには，定款の改正が必要です。

2018年5月17日に開催された総会で，議案5「公益社団法人日本気象学会定款の一部改正について」を提案いたしました。しかし，総会では，定款の改正に必要な社員の3分の2の賛成を集めることができず，この議案は承認されませんでした。

今回の臨時総会では，春季の2018年度総会で成立できなかった議案5を再度提案し，今度は成立させ，経常経費の節減を図りたいと考えております。もちろん，会員の皆様にはよくご検討の上，忌憚のないご意見をいただければと思います。なお，執行部一丸となり，今後とも財政基盤の安定とその健全化に努力してまいります。皆様には学会運営にご協力をよろしくお願ひいたします。

4. 2018年度臨時総会議案審議

（1）議案説明

議案：公益社団法人日本気象学会定款の一部改正について

瀬上副理事長から，経費の削減を目的に総会や理事会の議決等を電磁的方法で実施できるよう，定款を一部改正することについて説明があった。

（2）質疑応答

議案に対する質疑はなかった。

（3）採決

議案について，以下の通り合計2,258票の賛成票があった。総社員の議決権の3分の2以上の賛成を得られたため，定款第17条第2項により承認された。

臨時総会に出席した15名は全員理事会案に賛成であった。有効総会参加票2,290票のうち，臨時総会に出席した15名を除いたものについて，理事会案賛成1,013票，議長委任1,229票及び個人会員委任1票で，議長委任票及び個人会員委任票は全て理事会案に賛成であった。

5. 議事録署名人の指名

議事録署名人に大西晴夫会員（日本気象予報士会），鈴木 靖会員（日本気象協会）を指名したところ，異議なく承認された。

6. 議長の解任

韭澤議長により，臨時総会の議事運営に関する出席者の協力に感謝する旨の挨拶があり，議長は解任された。

7. 閉会

氏家理事により，臨時総会の閉会が宣言された。

以上の議事録の通り相違ありません。
平成31年1月31日

臨時総会議長 菲澤 浩
出席者代表 大西 晴夫
出席者代表 鈴木 靖
